

総合的な評価（中間評価）報告書（案）の意見照会結果及び対応案について

1 総合的な評価（中間評価）報告書（案）への意見等について ※誤記の訂正、軽微な文言修正（追記）等は除く

- 意見 （8件）【整理No. 1～8】
- ◆ 質問 （0件）

2 各意見に対する対応案について

意見の内容に応じて、次期（第4期）実行5か年計画に関する意見書の本文を修正するなどの対応案について以下のとおり区分した。

【本文修正】 委員からの意見の主旨に沿って本文を修正、加除した。

【個別意見】 委員からの意見の主旨に沿って本文を修正、加除することは困難であるため、県民会議委員の意見として別欄に記載した。

【その他】 意見書に記載する以外の方法で対応した。

3 意見別対応案一覧

箇所名	整理No	意見	委員名	対応案
第2部 水源環境保全・再生施策と展開				
4 (3) 施策の評価 方法 ア、イ	1	○ アの1段落目最終行 「評価項目を整理しました。（各事業の評価の流れ図（構造図）」とあるが、突然に感じてしまうため 「評価項目を整理しました。（33ページの各事業の評価の流れ図（構造図）」としてはどうか。 また、イの施策評価の流れにも記載があるため、重複するので、どちらかを削除してもよいように思われる。 (回答) ご指摘のとおり、アとイの記載に重複が見られるため、アの1段落目最終行にある（各事業の評価 の流れ図（構造図））を削除しました。	岡田	本文修正
5 神奈川県の水 源環境の課題 と施策展開に ついて（第3 期5か年計 画）	2	○ (図の修正) 図により事業番号の表し方にばらつきがあるため（○や□など）、統一すべき。 (回答) ○で事業番号を表す形で統一しました。	宮下	本文修正 (図修正(一部))

箇所名	整理№	意見	委員名	対応案
6 水源環境保全・再生施策の総合的な評価（中間評価）について	3	○（表への説明追記） 表中に事業名に付されている番号が3が2つ、8が2つあり、事業内容の期を見るとどの期のものかわかりませんが、このままであると理解しにくい。表中空スペースに、注意書きで記載したらいかがでしょうか。 例えば、3 溪畔林整備事業（県）＊ ＊は1期、2期で終了 8 公共下水道の整備促進（相模原市）＊、9 合併処理浄化槽の整備促進（相模原市、山北町）＊ ＊は3期より8 生活排水処理施設の整備促進に整理統合 とか。 同じ表に同じ番号があると一般にはなぜかの疑問が生じると思われます。読まれる方は、P35, P37, P39, P40と順に見た時、表中で同じ番号を使用しているのはなぜなのか理解しにくい。 （回答）ご指摘のとおり、注意書きを表の枠外に追記しました。	宮下	本文修正 （表修正（一部））
第3部 水源環境保全・再生施策の総合的な評価（中間評価）				
1 事業費及び事業量（アウトプット）による評価 （2）事業量（アウトプット）について	4	○（本文の修正） アウトプットは結果という意味だと思います（33ページや43ページの図にアウトプットという言葉があります）。 アウトプットという言葉の説明がこれまでないので、45ページでわざわざ言い換える必要はなさそうに思います。どういう意味だっけ？と考えてしまいます。1次的アウトカムや2次的アウトカムについては32ページで説明しています。言い換える必要があるならば同ページでアウトプットという言葉についても説明をするべきだと思います。 （回答）アウトプットはほかのページの図表においても使用している表現であり、ご指摘の箇所でも使用することとし、32ページ（第2部 水源環境保全・再生施策と展開 4 施策の推進 （3）施策の評価方法 ア 施策評価の考え方）にて説明を追記しました。 修正前 ア 施策評価の考え方の4行目「評価の方法についても検討し、事業により予想される効果と…」 ⇒修正後 「評価の方法についても検討し、 <u>事業費や事業量の実績（アウトプット）だけでなく、事業により予想される効果と…</u> 」	岡田	本文修正
2（5） 施策の目的	5	○（本文修正） 指標⑨図13のBODの75%値について突然感があるため、75%値の説明を追記してはどうか。 （回答）ご指摘のとおり追記しました。	岡田	本文修正

箇所名	整理No	意見	委員名	対応案
6 (1) 水源環境保全・再生施策の効果を示す指標等	6	○ (本文修正) 指標③評価データの3つの表は2 (2) 河川の保全・再生の指標③に同じデータを掲載している。差別化をはかるためにも、こちらでは図の読み取り方を説明文として加えると親切だと思う。 (回答) 当該箇所は指標の定義や意味について記載している箇所であり、図の内容については49ページ2 施策の効果を示す指標 (現時点のアウトカムの達成度 (状況)) による評価 (2) 河川の保全・再生に説明があります。説明は49ページで足りると考え、現行のままとしております。	岡田	その他 ※左記のとおり回答
第4部 今後に向けて～将来世代に引き継いでいくために必要なこと～				
神奈川県 “水源環境保全税”と国の “森林環境譲与税”について	7	○ (図の一部修正) 中ほどにあり「広葉樹林 (住宅地、農地周辺等)、竹林、小面積な森林」の塊は実際には森林譲与税が使用されるので、森林譲与税に向かう矢印が必要なのではないかと? 逆に、水源かん養機能上整備が不要な森林 14800ha からの矢印は細い点線くらいでいいのではないかと? (回答) ご指摘の「広葉樹林 (住宅地、農地周辺等)、竹林、小面積な森林」は水源環境保全税の充当が可能な水源保全地域にある森林ですが、水源環境保全・再生施策としての水源かん養機能上整備が不要と整理されている森林の具体の例です。これらの森林は森林環境譲与税の趣旨に整合していることを前提に森林環境譲与税を活用して森林整備を行うものと整理しており、その条件を矢印の先、塊の右側の枠内に示しています。 エリアとしては水源環境保全税の充当可能ということもあり、そのまま森林環境譲与税に矢印を向けておりません。 白黒印刷ですとわかりにくい部分もあったかと思いますが、カラー印刷を見ていただくと正しく整理されているものと思っております。 一部具体例の表記がわかりにくい点があったかと思っておりますので、修正いたしました。	岡田	その他 ※左記のとおり回答
令和元年台風第19号による記録的な大雨と被害状況	8	○ (表記の一部修正) 【令和元年台風第19号による被害状況について [特別対策事業関係]】モニタリング調査関係行間が等間隔なので、[] 内が場所名なのか・二つの場所の情報があるということが読み取りにくい。 (回答) [] 内は調査実施箇所を表しており、どこでどのような状況が見られたかを表しています。[大洞沢] [フチジリ沢] というように箇所ごとに区分いたしました。	岡田	本文修正